

# IV

## 各地区の基本方向

本市は、国道 36 号や国道 274 号、道道江別恵庭線や羊ヶ丘通等の幹線道路、道央自動車道、J R 千歳線の沿線などの交通の利便性の高い地域に、国有林を取り囲む形で市街地が形成されています。これらの市街地を中心とした、東部地区、大曲地区、西部地区、西の里地区、北広島団地地区、それぞれの地区がもつ特性や機能を考慮しながら計画的なまちづくりを進めています。

### 1

## 東部地区

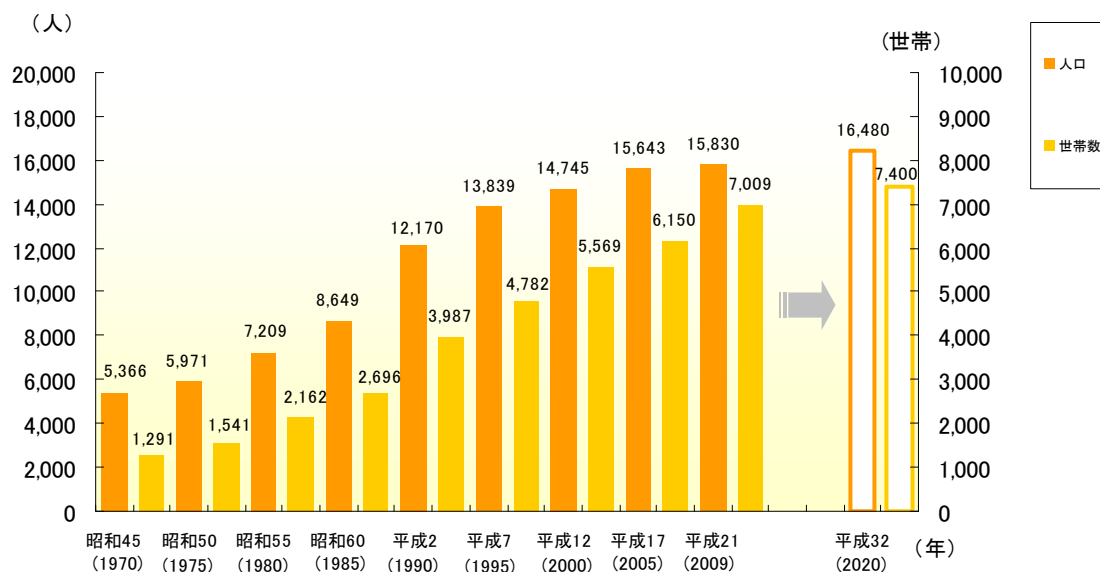
### ◆地区の概況

#### (1) 地勢

東部地区は、明治 17 年(1884 年)、一村形成の志を抱いた和田郁次郎ら広島県人の集団入植によって開拓が始まった本市発祥の地です。以降、J R 千歳線や道道江別恵庭線が整備され、高校、大学、芸術文化ホール、図書館等の文教施設、市役所等の公共機関、金融機関、商業施設などが集積する市の中心的な地区として発展してきました。

市街地の近くには国有林をはじめとする豊かな森林が広がっており、自然景観や眺望に恵まれた場所に宿泊施設や温泉施設が立地しているほか、市街地内には輪厚川が流れており、親水空間化されています。

#### (2) 人口・世帯



### ◆地区の基本方向

- 広域的で多彩な交流や賑わいが生まれ、本市の活性化の中心的役割を果たすように、J R 北広島駅周辺への商業・業務施設の誘導をはじめ、エルフィンパークや文化施設を活用した賑わいの創出、諸機能の充実などを図ります。
- 市内や市外の住民同士が自然や文化、スポーツ、レクリエーションなどの活動を通して活発に交流できるよう、利用しやすい図書館環境づくり、芸術文化ホールの活用による芸術文化に親しむ環境づくり、総合体育館や自転車道などを活用した広域交流拠点の形成を図ります。
- 東の里遊水地の利活用施設の整備検討、緑化センターの整備検討、森林運動広場の整備、緑化センターの整備検討、市営住宅北の台団地と共栄第 2 団地の建替えなどを進めます。

## ◆地区の概況

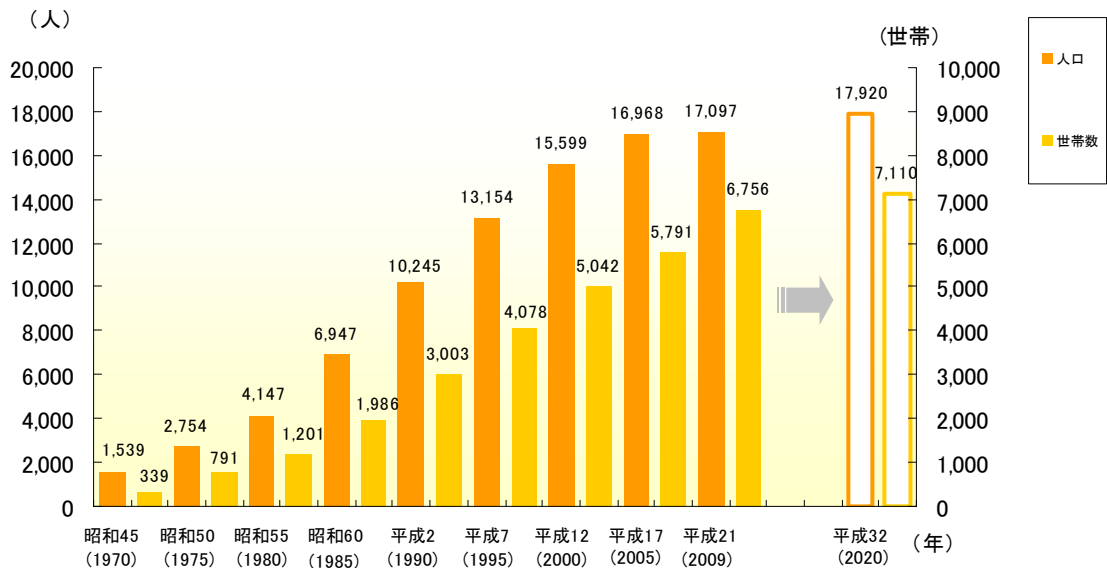
## (1) 地勢

大曲地区は、明治6年(1873年)に札幌本道(現在の国道36号)が開通し、現在の国道36号と道道栗山北広島線の交差点付近に集落が形成されました。昭和40年代から民間の宅地開発などにより人口が増加し、古くからの住宅地と新しい住宅地が混在する地区となっています。

地区内を南北に道央自動車道、国道36号、羊ヶ丘通などの広域幹線道路が通り、札幌市や新千歳空港などを結ぶ交通の要衝となっています。

昭和39年(1964年)に企業立地が始まった大曲工業団地をはじめ、昭和61年(1986年)に大曲新工業団地、平成3年度(1991年度)に大曲第3工業団地の立地が始まり、恵まれた立地条件を生かし、現在約206社の企業が立地し操業しています。

## (2) 人口・世帯



## ◆地区の基本方向

- 市街地周辺の緑を保全しながら、良好な市街地環境の形成をめざす計画的な土地利用を促進し、生活道路等の再整備、市民農園・直売所・観光農園等によるグリーンツーリズム※の促進、だれもが安心して利用できる都市基盤整備の充実を図ります。
- 主要幹線道路である国道36号の沿道において、商業・業務施設や軽工業・流通業務施設を誘致し、活気のある沿道環境の形成を図ります。
- 保育園や学童クラブの充実、消防署大曲出張所の移転・整備、住民集会所の施設整備など利用者のニーズを踏まえた計画的な整備を推進します。

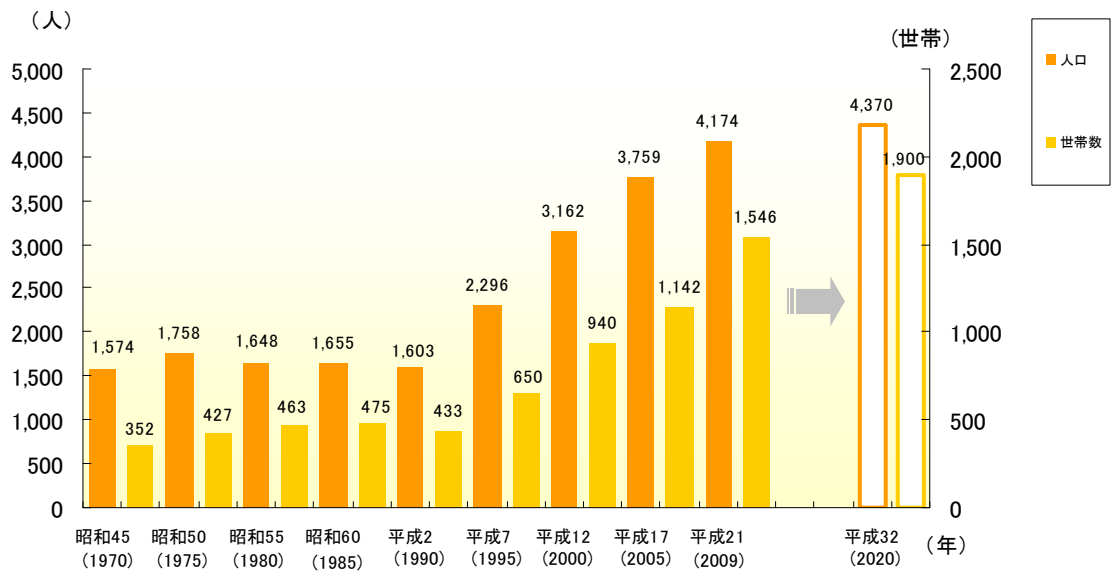
## ◆地区の概況

## (1) 地勢

西部地区は、明治6年(1873年)に開通した札幌本道(現在の国道36号)の沿道に集落が形成され、昭和後期からは民間の宅地開発などにより住宅地の整備が進み、人口が増加しました。この地区は、明治初期からの開拓の歴史をもつ地区であり、中山久蔵による稲作の成功を讃えた寒地稲作発祥の地の碑や旧島松駅通所やクラーク記念碑など北海道の開拓史上、重要な史跡が保存されています。

地区を南北に道央自動車道、国道36号が通っており、北側には羊ヶ丘通の整備が計画されています。また、広域幹線道路の沿道という交通の利便性を生かし、新たな工業団地の造成が進められています。

## (2) 人口・世帯



## ◆地区の基本方向

- 旧島松駅通所やクラーク記念碑、寒地稲作発祥の地の碑など歴史・文化財の保存と継承、河川整備などの治山・治水対策の推進、市有林の整備地域の拡大、豊かな自然を生かしたレクリエーション空間の創出などにより、人が訪れる地区の形成を図ります。
- 都市機能の向上を図るため、計画的な土地利用を促進するとともに、都市間連絡道路である羊ヶ丘通の整備促進を図り、輪厚パーキングエリア周辺のインターチェンジ機能を生かした土地利用の検討を進めます。
- 札幌都市圏に位置する地理的優位性を生かし、造成が進んでいる輪厚工業団地の企業誘致を推進します。

## ◆地区の概況

## (1) 地勢

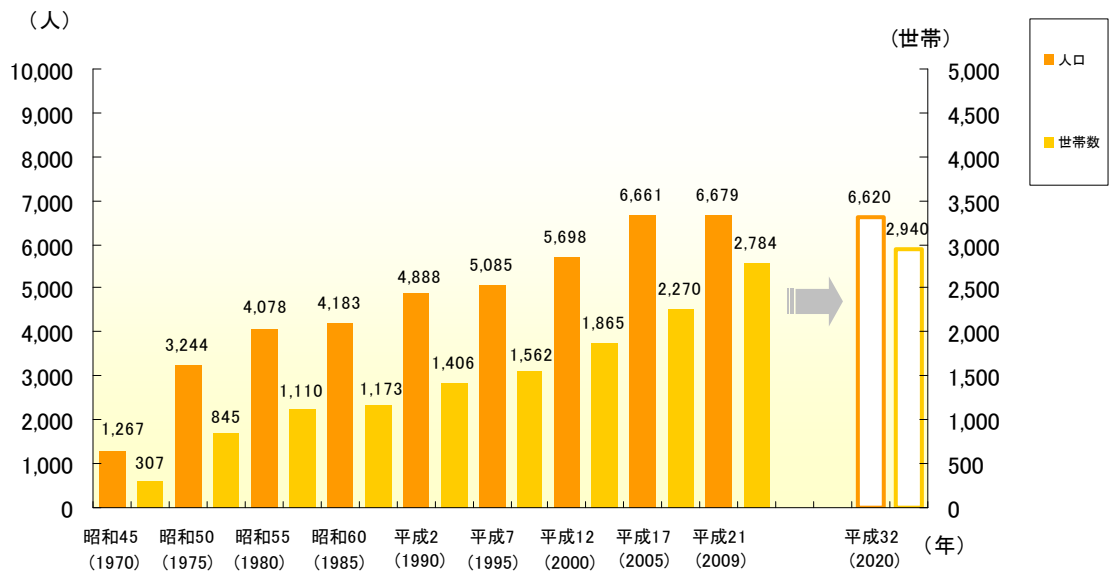
西の里地区は、明治 28 年(1895 年)頃からの入植により集落が形成されてきました。昭和 45 年(1970 年)からの西の里団地の造成を契機に計画的に住宅地が形成され、平成 8 年(1996 年)には土地区画整理事業による住宅地ができ、人口が増加してきました。

地区の南側には、江別市側から連なる天然記念物である野幌原始林を含む国有林が広がるなど、豊かな自然に囲まれた地区となっています。

国道 274 号沿いは、コンビニエンスストアなどの沿道型サービス施設が立地しています。また、通勤・通学等のため J R 上野幌駅の利用者が増えています。

この地区には特別養護老人ホームや児童養護施設など社会福祉施設が集中しています。このため、地域でともに支えあい生活するためのさまざまな事業やボランティア活動が展開され、福祉やノーマライゼーション\*のモデル的な地区となっています。

## (2) 人口・世帯



## ◆地区の基本方向

- 計画的な土地利用や既存住宅地の整備を促進するとともに、住民の利便性向上のため、商業・業務機能の充実を図ります。
- 各種の社会福祉施設が立地しているノーマライゼーション\*の地区として、ともに支えあう地域づくり、人にやさしいまちづくりを積極的に進めます。
- J R 上野幌駅周辺については、J R 千歳線や国道 274 号、都市計画道路厚別東通の交通の利便性などを生かし、商業・業務施設等の立地を促進します。

## ◆地区の概況

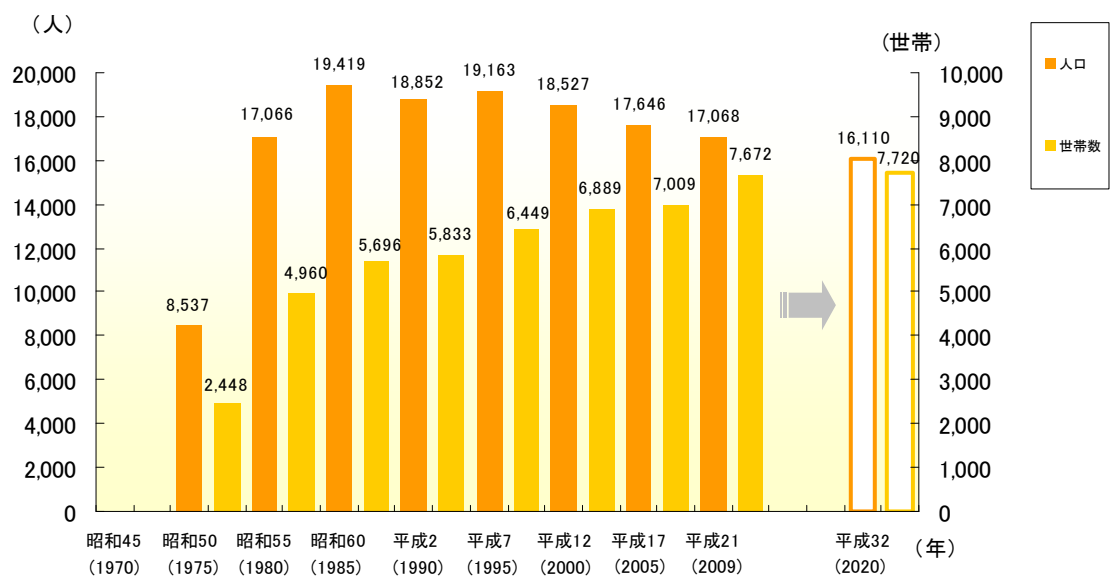
## (1) 地勢

北広島団地地区は、北海道営の住宅団地として昭和45年(1970年)に着工され、緑が豊かでゆとりある住環境を備えた住宅団地として成長してきました。

しかし、近年の少子高齢化の進展に伴い、住民の年齢構成が偏るなど、人口減少と高齢化が急速に進行しています。

地区内には総合公園や近隣公園、歩行者・自転車専用道路(トリムコース)などが整備されており、レクリエーションの環境が充実しています。

## (2) 人口・世帯



## ◆地区の基本方向

- 多様な世代がいきいきと暮らしていけるよう、気軽に交流できる憩いの場や賑わいの創出を図ります。また、JR北広島駅周辺のエルフィンパークや商業業務施設などを活用した賑わいを創出し、市全体の中心としてまちの顔にふさわしい土地利用の推進を図ります。
- 豊かな自然環境、良好な住環境、利便性の高い交通など北広島団地の良さを高め、さまざまな世代のニーズに対応した魅力ある地区をめざすため、北広島団地活性化計画に基づく住民・事業者・行政による取組み、道営住宅やUR賃貸住宅の再生などを促進します。
- まちの担い手として新しい住民に移り住んでもらうため、次世代の人々が住んでみたい、住みたいと魅力を感じることができる地域づくりをめざし、リフォーム相談や住替え相談の充実、積極的なPRなどを進めます。

# 資料

## I

### 総合計画指標一覧

#### 1

#### 基本指標

指標名	指標の説明	現状			目標値 平成 27 年	目標値 平成 32 年	備 考
		数値	基準年	比較			
将来人口	市の総人口	60,864 人	21		61,150 人	61,500 人	
年少人口	15 歳未満の人口	8,251 人	21		7,180 人	6,360 人	
生産年齢人口	15 歳～64 歳の人口	39,812 人	21		37,990 人	37,000 人	
高齢人口	65 歳以上の人口	12,801 人	21		15,980 人	18,140 人	
世帯数	市の総世帯数	25,724 世帯	21		26,410 世帯	27,070 世帯	
合計特殊出生率※	15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計した数値	1.13	19	国 1.34 道 1.19	1.16	1.19	

★表中の比較、備考欄で「国、道、類似団体」とあるのは、国や北海道及び類似団体が公表している値です。

指標名	指標の説明	現状			目標値 平成 27 年	目標値 平成 32 年	備 考
		数値	基準年	比較			
がん検診受診者数	市が実施する市民を対象とした胃がん(35歳以上)、子宮がん(20歳以上)、乳がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん(それぞれ40歳以上)の年間検診受診者数	7,780人	20		11,200人	14,000人	
特定健康診査受診率	40歳以上74歳以下の国保加入者に対する特定健康診査を受診した人数の割合	25%	20	国 28.8%	65% (H24年)	特定健康診査実施計画で定める	国が示す目標値 (H24年値) 65%
ボランティア団体数	ボランティア活動の普及・啓発など社会福祉協議会の事業に協力する社会福祉協議会登録団体数	16団体	20		17団体	18団体	
児童センター利用者数	児童センター利用者数(輪厚児童センター、大曲児童センターほか)	26,634人	20		40,000人	40,000人	
障がい者地域生活支援施設利用者数	障がい者の地域での生活を支援する居住の場である、グループホーム、ケアホーム、福祉ホームの年間利用者数	86人	21		93人	100人	
居宅サービス利用者の出現率	介護保険第1号被保険者(65歳以上)に対するホームヘルプサービスなど、居宅サービス利用者の割合	9.4%	20	国 10.3% 道 10.0%	11.0%	12.0%	

指標名	指標の説明	現状			目標値 平成 27 年	目標値 平成 32 年	備 考
		数値	基準年	比較			
人が困っているときは、進んで助けたいと思う児童生徒の割合	児童（小学6年生）、生徒（中学3年生）に対するアンケートの結果	小 77.5% 中 74.9%	21	国小 78.6% 国中 72.2% 道小 76.9% 道中 70.7%	小中 85%	小中 90% 以上	
家で学校の宿題をしている児童生徒の割合	児童（小学6年生）、生徒（中学3年生）に対するアンケートの結果	小 88.0% 中 86.9%	21	国小 95.5% 国中 83.0% 道小 90.1% 道中 81.9%	小中 90%	小中 95% 以上	
運動・スポーツが好きな児童生徒の割合	児童（小学5年生）、生徒（中学2年生）に対するアンケートの結果	小 74.5% 中 60.0%	21	国小 91.5% 国中 84.8% 道小 91.8% 道中 85.1%	小 85% 中 80%	小中 90% 以上	
小中学校耐震化率	建築基準法の耐震基準の改正があった昭和56年以前に建設された耐震化の必要な棟に対する耐震化実施率	52.3%	20	国 62.3% 道 48.4%	100%	100%	
不登校児童生徒割合	文部科学省が実施している「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」に基づき、不登校を理由として30日以上欠席をした児童生徒の全児童生徒に対する割合	1.03%	20	国 1.18% 道 0.97%	1.00%	0.95%	
生涯学習振興会設置数	学びを通じたコミュニティ※の活性化、人づくりのため地域住民が参画する生涯学習振興会の設置数	3箇所 （西の里・大曲・西部）	20		4箇所	5箇所	
旧島松駅通所等入館者数	旧島松駅通所と郷土史料収蔵室（東記念館）の年間入館者数	3,325人	20		6,000人	6,500人	
図書貸出数	市民1人あたりの年間図書貸出冊数（図書館・地区図書館）	8.9冊	20	類似団体 5.2冊	9.0冊	9.5冊	
芸術文化ホール利用者数	芸術文化ホール（ホール・楽屋・ギャラリー・活動室・練習室）の年間利用者数	98,000人	20		110,000人	120,000人	
体育施設利用者数	総合体育館、各地区体育館、プール、テニスコート、緑葉公園野球場、自然の森キャンプ場の年間利用者数	294,993人	20		315,600人	331,300人	



指標名	指標の説明	現状			目標値 平成 27 年	目標値 平成 32 年	備 考
		数値	基準年	比較			
二酸化炭素排出量	市民 1 人あたりの年間二酸化炭素排出量(市全体のエネルギー消費量から算出)	7.32 Co2- t	18		第 2 次環境基本計画において定める	第 2 次環境基本計画において定める	国の目標 2020 年において 1990 年比 △25%
ごみ排出量	市民 1 人 1 日あたりのごみの排出量	794 g	20	道 763g	610 g	610 g	道 H19
ごみのリサイクル率	ごみ排出量のうち、リサイクルされた量の割合	18.0%	20	道 18.8%	27.0%	27.2%	道 H19
公園等里親制度参加団体数	市民と市との合意に基づきボランティアとして公園等の清掃、美化を行う里親制度に参加する団体数	25 団体	21		30 団体	35 団体	
公共施設耐震化率	建築基準法の耐震基準の改正があった昭和 56 年以前に建設された市所有の建築物のうち、耐震改修が必要な施設に対する耐震化を実施した割合	53%	21		90%	90%以上	国の目標 2015 年において 90%以上
自主防災組織率	全世帯数に対する自主防災組織が結成された地域の世帯数の割合	27%	20	国 71.7% 道 48.1%	45%	70%	
火災発生件数	人口 1 万人あたりの年間の火災発生件数	4.9 件	20	国 4.1 件 道 4.6 件	2.5 件	2.0 件	
救命講習会受講者数	救命講習会の受講者数(累計)	17,000 人	20		25,000 人	34,000 人	
交通事故件数	人口千人あたりの人身交通事故発生件数	4.3 件	20		3.8 件	3.3 件	
街路灯設置数	自治会等で整備や維持管理している街路灯数	6,030 灯	20		6,280 灯	6,530 灯	
自主防犯団体数	地域住民が自主的に防犯活動を行っている青色回転灯パトロール隊や見守り隊等の団体数	32 団体	21		34 団体	36 団体	

指標名	指標の説明	現状			目標値 平成 27 年	目標値 平成 32 年	備 考
		数値	基準年	比較			
農業粗生産額	北海道農林水産統計調査による農業生産によって得られた農畜産物とその農畜産物を原料として作られた加工農産物を販売して得た利益額	45 億円	18		47 億円	49 億円	
耕作放棄地面積	以前耕作地であった農地で、過去 1 年間以上作物を作付けせず、今後数年間に再び耕作する意思のない農地の面積	101ha	20		70ha	40ha	
製造品出荷額等	工業統計調査による金属製品製造業など年間製造品出荷額等	740 億円	19		820 億円	830 億円	
商業販売額	商業統計調査による卸売業・小売業の年間販売額	1,366 億円	19		1,800 億円	2,000 億円	
観光入込客数	北海道観光入込客数調査による市内の観光地(ゴルフ場、ホテルなど)を訪れた年間観光客数	75 万人	20	石狩支庁 2,334 万人 管内 6 位	80 万人	90 万人	恵庭市 124 万人 江別市 82 万人
シルバー人材センター会員数	シルバー人材センターに登録している会員数	543 人	20		593 人	643 人	

指標名	指標の説明	現状			目標値 平成 27 年	目標値 平成 32 年	備 考
		数値	基準年	比較			
市街化区域内の未利用可住地面積	市街化区域内で住宅を建築することができる空き地の面積	134ha	20		125ha	116ha	
市営住宅建替え率	市営住宅 5 団地（広島団地、輪厚団地、西の里団地、共栄第 2 団地、北の台団地）340 戸のうち、建替えの必要な 324 戸に対する建替えの実施率	52%	21		85%	100%	
市道改良整備率	市道の規格改良道路への整備率	88.3%	20		89.1%	90.0%	
水道普及率	給水区域内人口に対する給水人口の割合	98.6%	20	全国 93.9% 類似団体 95.4%	98.8%	99.0%	全国・類似団体 H 19
配水管の耐震化率	配水管総延長に対する耐震性に優れた管の延長の割合	13%	20		24%	31%	
下水道普及率	行政区域内人口に対する処理人口の割合	95.9%	20	国 72.7% 道 88.8%	96.2%	96.5%	
行政手続き電子申請項目数	住民票交付申請などの行政手続きのうち、電子申請や届出によって利用できる項目数	6 項目	20		10 項目	16 項目	

指標名	指標の説明	現状			目標値 平成 27 年	目標値 平成 32 年	備 考
		数値	基準年	比較			
NPO*法人認証 団体数	特定非営利活動促進法の 規定に基づき認証された 特定非営利活動法人(NPO 法人)で、市内に事務所 を有する団体数	23 団体	21		25 団体	30 団体	恵庭市 10 団体 千歳市 21 団体
自治会等加入世 帯率	全世帯数に対する自治会 等に参加している世帯数 の割合	77%	21		77%	77%	石狩市 76% 恵庭市 70%
附属機関への女 性登用率	市の各種審議会等委員数 に対する女性委員の占め る割合	36%	21		38%	40%	
市税収納率	市民税、固定資産税、都 市計画税、軽自動車税、 市たばこ税、入湯税の現 年度分の収納率	97.89%	20	道内 35 市 平均収納 率 97.40%	98.12%	98.51%	
市ホームページ 閲覧件数	市の公式ホームページ年 間閲覧件数	30 万件	19		33 万件	36 万件	

## 【あ行】

インターネット  
P35・55・73・81・82

世界中のコンピュータ・ネットワークを相互に接続した世界規模のコンピュータ通信網。

NPO  
P23・24・29・43・46・74・75・94

英語の Non - Profit Organization の略。営利を目的としない民間組織。

## 【か行】

合併浄化槽  
P46

し尿と生活雑排水を合わせて処理し、公共下水道以外に放流するための施設。

救急救命士  
P51・52

厚生労働大臣の許可を受けて、救急車等が現場から病院に到着するまでの間、医師の指示の下に、救急救命措置を行う者。

グリーン購入  
P45

商品やサービスを購入する際に、価格、機能、品質等だけではなく、環境を考慮して、環境に与える影響のできるだけ少ないものを選んで優先的に購入すること。

グリーンツーリズム  
P19・56・57・61・84

農山漁村地域などにおいて、農林漁業体験や地域の自然や文化に触れ、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

グローバル化  
P7・58

世界的規模に広がること。政治・経済・文化などが国境を越えて地球規模で拡大すること。

合計特殊出生率  
P6・88

1人の女性が一生の間に平均何人の子どもを産むかを示す指標で、15歳から49歳までの女性の年齢別出生数を合計した数値。

交通結節機能  
P44・63

自転車、自動車、バス、鉄道など異なる交通手段を相互に連結させることによる、乗り換え機能や拠点形成機能などのこと。

コミュニティ  
P20・36・48・64・74・90

地域社会や共同体。人々が共通の意識をもって生活を営む地域または集団などのこと。

コミュニティビジネス  
P19・29・60

地域の課題を地域住民が主体的に、ビジネス的な手法を用いて解決しようとする取り組み。

コンベンション  
P19・61

多くの人が集まる大会や会議、展示会などのこと。

## 【さ行】

シティセールス  
P61・82

都市の魅力や個性を発掘・育成し、発信することにより、都市のイメージやブランド力を向上する取り組み。

児童館  
P18・25・26

児童の遊びを通じて健全の増進や親子活動などにより情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設。

循環型社会 P6・45・47	環境への負荷を小さくするため、資源リサイクルなどを推進し、人間の活動により生じる物資を自然界の中で循環できるようにする社会。
食育 P32	さまざまな経験を通して、食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てること。
スローライフ P7	スピードや効率を重視した現代社会とは対照的に、ゆったりとマイペースで人生を楽しもうという生活様式。
生活習慣病 P22	成人期後期から老年期にかけてり患率、死亡率が高くなる慢性疾患（糖尿病、高血圧など）の総称。

## 【た行】

ダイオキシン類 P45	燃焼や化学物質製造の過程などで生成されるポリ塩化ジベンゾ・パラ・ジオキシン（PCDD）、ポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）、コプラナーポリ塩化ビフェニル（コプラナーPCB）の総称。
男女共同参画社会 P77	男女が社会の対等な構成員として、互いにその人権を尊重し、ともに責任を担いつつ、性別にとらわれることなく、あらゆる分野でその個性と能力が発揮できる社会。
地域コミュニティ P6・20・37・45・74・75	地域における様々な共同体のことで、町内会や自治会、一定のテーマや目的を持った集まりや団体など。
地域経営 P1	市民や事業者、NPO、行政など多様な主体が、地域の資源（人、自然、知識、資本など）を生かして、お互いの責任と役割を果たしながら地域づくりや運営していくこと。
地域包括支援センター P28	地域の高齢者に対する地域支援の相談、高齢者の権利擁護、介護予防ケアマネジメントなどを総合的に行う機関。
地球温暖化 P3・6・7・45	石油等の化石燃料の燃焼などにより大気中の二酸化炭素等が増加し、地表から放出される赤外線を吸収することにより、地球の温度が上がる現象。
地産地消 P19・57・60	地域で生産されたものを地域で消費すること。
低炭素社会 P45	二酸化炭素などの温室効果ガスの排出が少ない社会。
低・未利用地 P13・63	適正な利用が図られるべき土地であるにもかかわらず、長期間にわたり利用されていない「未利用地」と、周辺地域の利用状況に比べて利用の程度（利用頻度、整備水準、管理状況など）が低い「低利用地」の総称。
出前講座 P50・81・82	北広島市の仕事に関する講座メニューについて、担当職員が市民の集まりに出向いて説明をする講座。
出前トーク P81・82	市長が市民の集まりに出向き、市政に関するテーマについて意見交換する事業。

## 【な行】

---

ノーマライゼーション  
P27・86

障害の有無にかかわらず、すべての人が地域社会の中で生活を共にするのが正常なことであり、本来の望ましい姿であるとする考え方。それに向けた運動や施策なども含む。

---

## 【は行】

---

バイオマス  
P70・71

再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの。

---

バリアフリー  
P23・24・64

高齢者や障がい者などが行う諸活動に不便な障壁（バリア）を取り除くこと。

---

## 【や行】

---

ユニバーサルデザイン  
P65

年齢、性別、身体的能力、言語などの違いにかかわらず、すべての人にとって安全・安心で利用しやすいように建物や製品、サービスなどを計画、設計する考え方。

---

## 【ら行】

---

ライフスタイル  
P3・7・20・22・37・41・67

生活の様式や営み方。また、人生観や価値観、習慣などを含めた個人の生き方。

---

## 【わ行】

---

ワーク・ライフ・バランス  
P7・77

仕事（ワーク）と私生活（ライフ）の調和を図り、老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発などさまざまな活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態のこと。

---

北広島市総合計画（第5次）

原 案

平成 22 年 3 月

企画財政部 総合計画課